

New Zealand 小学校短期体験留学レポート

2008年5月19日(月)～6月2日(月)

毎年恒例になっている New Zealand 小学校短期体験留学に、今年も8歳～11歳の計6名の子ども達が参加しました。子どもたちは、一人または二人に分かれてそれぞれが子どもだけでホームステイし、平日は小学校で現地の小学生と一緒に同じ授業を受けて過ごしました。小学校初日には、マオリ式の歓迎セレモニーで盛大に迎えられ、マオリ語の歓迎の歌の後、当校の生徒達も日本語の歌を元気に歌ってお返ししました。また、土曜日の日帰り旅行では、数年前にニュージーランドに帰国した、関西インターナショナルスクールの元担任の先生に久しぶりに再会するなど、2週間という短い時間でしたが、盛りだくさんの内容になりました。

プログラム開始当初は、子ども達だけでホームステイするという内容に、「子ども達は本当に大丈夫だろうか?」と、少し心配もありましたが、実際のところ、子ども達は、大人が思うよりも、ずっとたくましく、ホームステイ先では、本当の家族のようにファミリーの一員として快適に過ごし、小学校でも、まったく臆することなく現地の子ども達と一緒に勉強し、ラクビーをしたりして一緒に走り回って遊んでいました。あまりにも子どもたちが自然に馴染んでいるので、その姿が大変誇らしい反面、正直、引率者の方が驚いてしまったくらいです。英語だけではなく、それを使うためのコミュニケーション能力も、確実に身につけて成長している子ども達の姿を大変たのしく感じました。



< プログラム内容のご紹介 >

引率者と子ども達だけで参加し、平日は現地の小学校に通学し、週末は日帰りでアクティビティに参加したり、それぞれのホストファミリーと過ごします。

時期と期間: 毎年5月～7月頃に約2週間程度

対象年齢: 8歳以上、

滞在形態: ホームステイ(1人または2人で)

ニュージーランドでは、マオリ語、英語の2つの言語が共用語とされていて、バイリンガル教育の考え方が、幼児教育の段階から自然に取り入れられています。そのため、普段は関西インターナショナルスクールでバイリンガル教育を受けている小学生にとっても、海外の小学校で勉強を体験するのに、ぴったりの場所として、毎年、参加しています。

関西インターナショナルスクールでは、留学プログラムに限らず、子ども達には、他では出来ないような素晴らしい経験をしてもらいたいと考え、日々、新しいことに取り組んでいます。